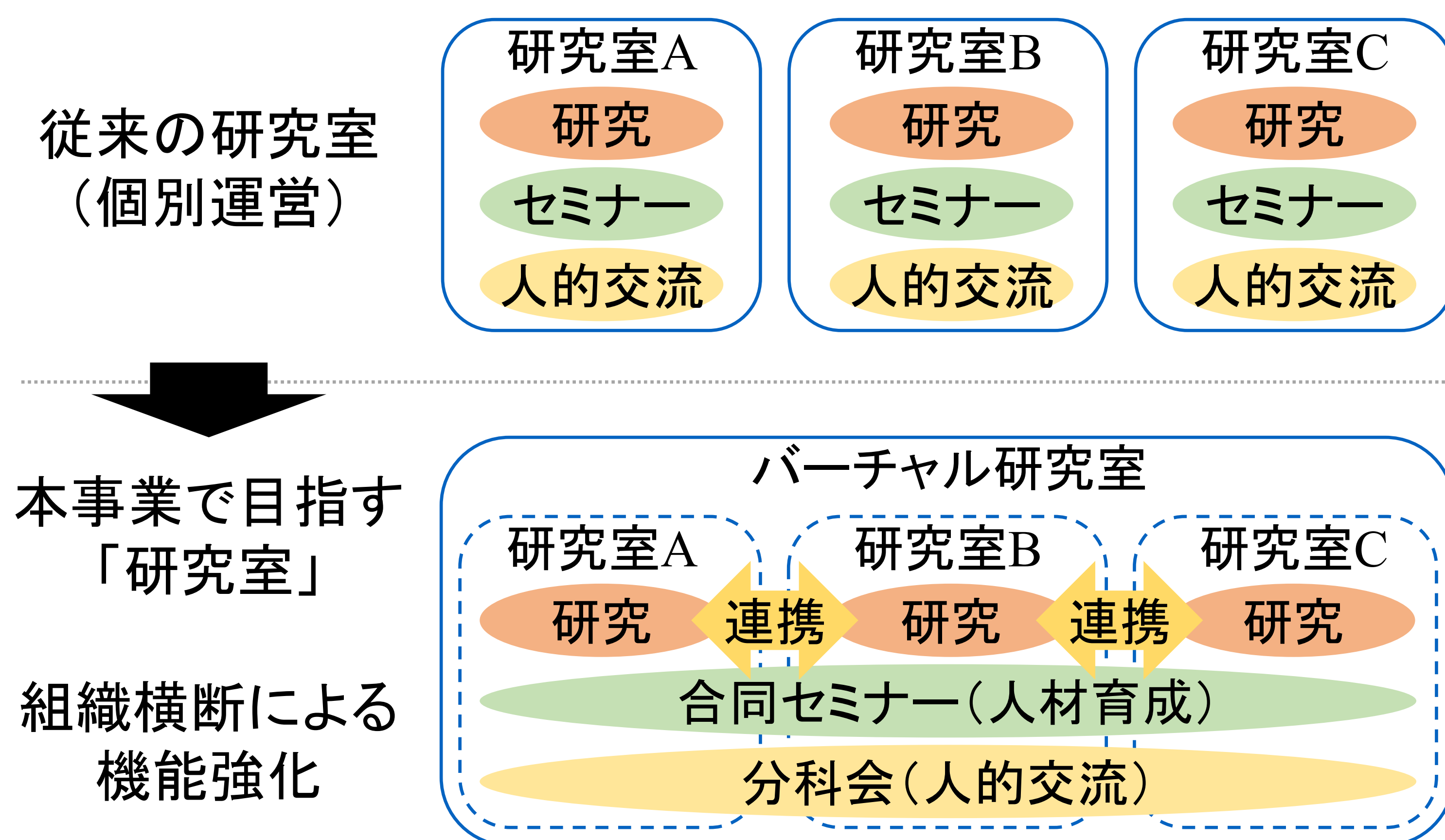


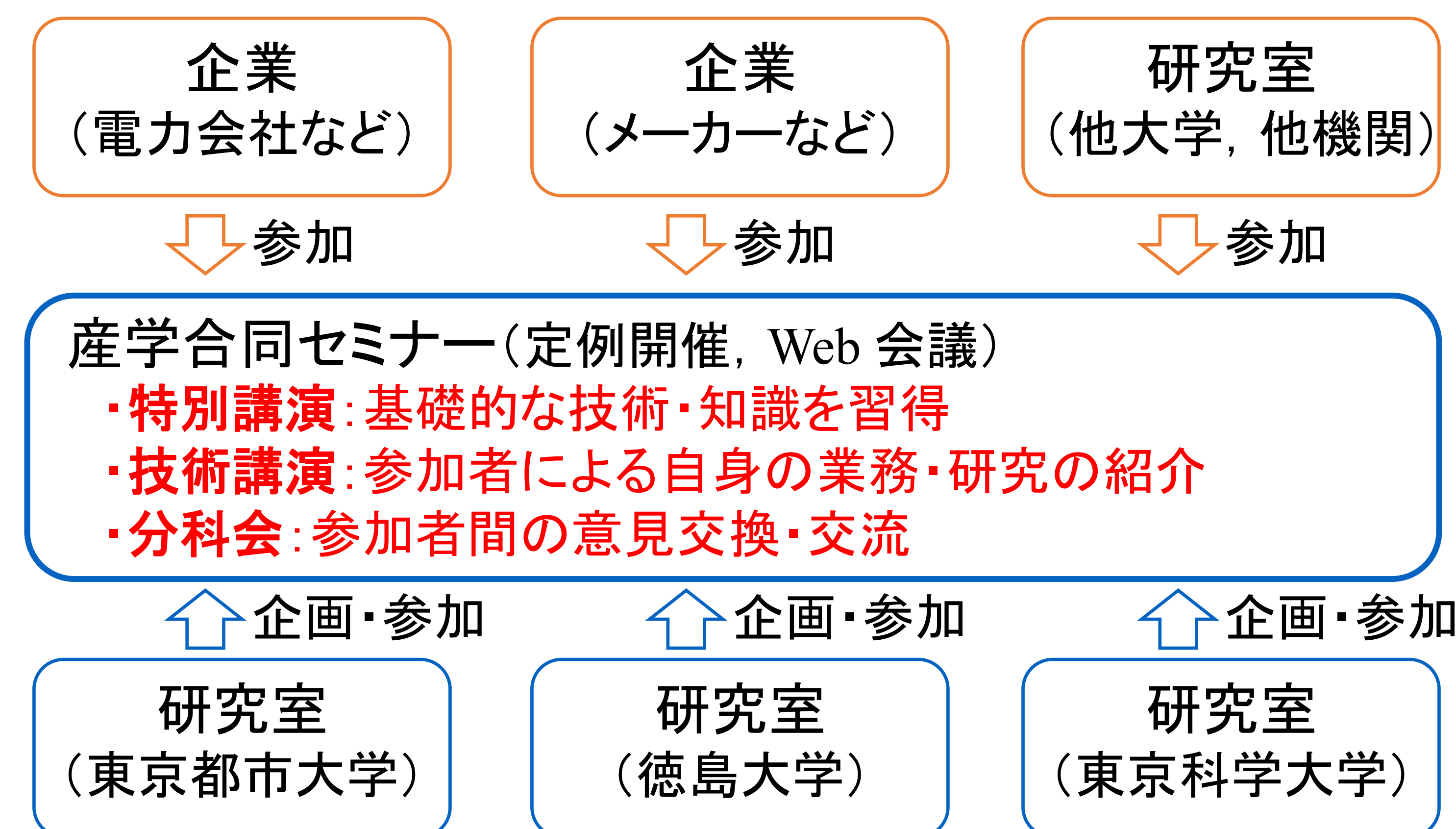
■事業の目的・目標

【背景】日本では直流送電分野の**技術者が不足**

【目的・目標】組織を横断して、**直流送電技術や電力系統用パワエレ技術の研究教育拠点形成**をめざす



【手段】定例の無料公開講座「**産学合同セミナー**」を中心とした人材育成・交流促進。2021年度開始。



■2025年度の主な成果

【**セミナー開催**】ウェブ会議5回，対面1回を開催。18件の講演と2月には事業総括，99機関より**391名**が登録，延べ参加者数**498名**。

講演者・題目の例（一部）：

- 東京科学大学 准教授（当時） 萩原 誠 氏「モジュラー・マルチレベル・カスケード変換器の構成と応用」，2025年4月
- 長岡技術科学大学 教授 三浦 友史 氏「系統連系インバータの種類とVSGインバータ」，2025年6月
- 名古屋大学 特任助教（当時） 中村 綾花 氏「再生可能エネルギー導入拡大に向けた多端子直流送電システムの運用および制御手法に関する研究」，2024年6月
- 環境エネルギー技術研究所 工学院大学 名誉教授 荒井 純一 氏「電力系統におけるインバータの適用とその制御」，2025年10月
- 広島大学大学院 先進理工系科学研究科 関崎 真也 氏「grid-forming電力変換器に関する研究動向」，2026年12月



2024年8月対面開催の産学合同セミナーのようす

【**講演ビデオ配信**】特別講演の内容を**YouTubeの@J-HVDC**チャンネルで配信。2026年6月現在は，動画**14本**，総視聴回数**34,514回**，登録者数**433人**。



【**シミュレーション勉強会**】2024年度に続いて，協力企業の支援により，電力用パワーエレクトロニクスに関する解析業務の体験とツールの実習を実施。2025年度は5日間にわたって**3大学3企業1団体**から**13名**が参加して，専門的で実務に近い内容であり有意義との評価を得た。

■課題と今後の取組

【課題】すそ野拡大⇒セミナーの参画企業を募集中。
・技術講演：ご講演をお願いできる企業
・企業展示：学生向け展示ブースの出展企業

【今後の取組】2025年度末でNEDO委託事業としての実施は終了。2026年度以降は，賛同企業のご協力を得ながら，人材育成・人的交流事業を自主的に継続中。

引き続き情報発信してまいりますので，**直流送電技術や電力系統用パワエレ技術に興味をお持ちの方は下記公式Webサイトをご訪問ください**

■実用化・事業化の見通し

本事業を通して双方の理解が促進され，学生のキャリア形成や関連産業への就職に一定の影響を与えることができた（参画研究室修了生のうち，電機メーカー**33%**，電力会社**24%**）。企業と学生の接点創出に繋がる人材育成・人的交流の事業形態のひとつと言えるのではないかと。

当該分野の**人材育成・人的交流**の活性化にご賛同いただける**企業を募集中**

東京都市大学 中島 達人
徳島大学 北條 昌秀
東京科学大学 佐野 憲一郎

のいずれかまでご連絡ください

